

—いのち・平和・人権—

# 人を大切にする 武蔵野の会 レポート

人を大切にする武蔵野の会と  
桜井夏来の活動をご紹介します

ACT FOR OUR FUTURE



## 特別号

2021年9月23日

人を大切にする武蔵野の会

〒180-0003  
武蔵野市吉祥寺南町 3-7-7  
0422-90-7349  
mail@hito-musashino.jp  
http://hito-musashino.jp

## 桜井夏来 さくらいなつき

**1974年** 吉祥寺南町生まれ  
家族の海外赴任で子ども  
時代をフィジー・ペルー・  
マレーシアで過ごす



フィジーにて近所の  
子どもたちと

**1986年** 市立第三小学校卒業

**1989年** 市立第三中学校卒業

**1993年** 私立桐朋高校卒業

**1997年** 私立沖縄大学中退  
ソフトウェア会社に勤務



川田悦子衆議院議員と  
事務所の前で

**2001年** 薬害エイズと闘った  
川田悦子さんが衆議院議員  
となり秘書を務める

**2007年** 武蔵野市市民協働サロン勤務

**2019年** 市議選にチャレンジするも

24票差で惜敗

**現在** デザインの仕事の傍ら  
人を大切にする武蔵野の会  
で地域の活動に携わる



3人の子どもたちと  
(撮影者：妻)

**家族** 妻と子ども3人、猫2匹

## 桜井夏来さんを 応援します



武蔵野市長

### 松下玲子

前武蔵野市長

### 邑上守正

都市・地域  
プランナー

### 田村和寿

## 命とくらしを守る市政の前進を

新型コロナウイルスの感染拡大により私たちの社会は大きな困難に直面しています。本来であれば、こうした緊急時にこそ政治がリーダーシップを発揮すべきですが、国も都も場当たりの対応に終始して、国民に対してきちんと道筋を示せていません。そんな中、命やくらしを守るために奮闘しているのが、私たちの足もとの自治体である武蔵野市です。

武蔵野市では、3期12年に渡って市政を担った邑上前市長、4年前に就任した松下市長とともに、市民の身近なくらしを支えることを重視した政治に取り組み、子育て支援や福祉などの分野で目覚ましい成果を上げてきました。昨年以来のコロナ禍の拡大に際しても、迅速に補正予算を組んで、市民の命とくらしを守るための、地に足の着いた施策に取り組んでいます。

今、武蔵野市は、再び市政を選択する時を迎えています。命とくらしを守る市政を後退させないためには、市長選挙はもちろんのこと、同時に実施される市議会の補欠選挙も重要です。誰もが不安なく生きていける持続可能な社会、いのち・平和・人権が守られ人が大切にされる社会を、松下市長とともにこの武蔵野のまちから築いていきます。

誰が不安なく生きていける  
持続可能な社会へ！  
コロナ禍を乗り越え、

### コロナ禍から命とくらしを守る

感染症対策の要となる保健所の武蔵野市内での復活を

### 子ども子育て応援宣言！

子どもの権利条例を制定し、子どもたちの声が届く社会へ

### 高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち

24時間 365日介護と医療を受けられる体制の確保

### 脱原発・人間が生き続けられる環境を

原発に頼らない持続可能な未来を武蔵野市から

### まちの未来は市民が決める

常設型住民投票制度と協働推進で市民主体のまちづくり

### 武蔵野から平和な社会な実現を

憲法の平和主義を守り、多様性が尊重される社会へ

【緊急対談】

# 武蔵野から 安心して 生きられる 社会の再生を

※ 撮影のためにマスクを外しています

人を大切にする武蔵野の会

## 桜井夏来

武蔵野市長

## 松下玲子

### いのちと暮らしを守る武蔵野市政

**桜井** 松下市長にとってこの間の市政運営は、前例のないコロナ禍の状況の中で市民の命と暮らしを守るという、責任重大で大変なものだったと思います。

**松下** 困難に陥っている方を見逃さず、きめ細かに支援や対策に取り組む基礎自治体の役割の重要性はますます増えています。市は命と暮らしを守る最前線であり、最後の砦であるという意識で市政に取り組んでいます。

**桜井** 武蔵野市は市民への支援策として、全在住市民への「くらし地域応援券」配布や都市計画税の減税、子育て世帯やひとり親家庭への給付金支給などを実施しました。国や都の政策をただ待つのではなく、市として独自にできることを実行していく姿勢は素晴らしいと思います。

**松下** 困難に陥った人を支えていることが公共の最も大切な役割だという考えから、災害等いざという時の為の基金を活用し、積極的に取り組みを進めました。

**桜井** 私も全く同感です。日本では近年、行財政改革の名のもと、安心して暮らせる社会に必要な機能やサービスまでが切り捨てられ

てきました。その結果社会から余裕が失われ、セーフティネットが充分に働かない状況になってしまった。そのことが、今回の感染流行にあたって被害を拡大する要因になったと感じています。

**松下** 武蔵野でも、かつては市内にあった保健所が国と都の方針によって統廃合され、多摩6市を管轄する「多摩府中保健所」に集約されました。ところがいざ新型コロナウイルスが感染拡大したら手一杯で対応しきれなくなってしまうようです。無駄をなくすという名目で切り詰めたことの弊害が出ていると言わざるを得ません。感染者への連絡や健康確認を行い、状況を把握して拡大を防ぐためにも、市内に保健所を復活させるよう継続して要望を行っています。

### 公共と市民の協働で社会の再生を

**松下** コロナ禍はまだ終息の気配を見せませんが、桜井さんは、まちでの生活や活動を通じて、課題として感じていることはありますか？

**桜井** コロナ禍に立ち向かっていく上では、もっと市民の力を活用していくことが必要ではないかと思っています。くらしに困窮する人が

増加する一方、そうした人に力を貸したいと願っている方が沢山います。そうした方々と協働して、まちぐるみで困難な状況に立ち向かっていくことが求められているのではないのでしょうか。

**松下** 実際、子ども食堂やフードバンクなど、市民の方々が中心になって進めていただいている活動で、欠かすことのできない命綱になっている取り組みがいくつもあります。そうした方々が活動しやすい環境を整えていくことは、重要な課題だと認識しています。

**桜井** これから先、コロナで疲弊した社会をもう一度立て直していくにあたって、市民が主体的に関わっていくことがとても大事だと思います。私は、そうした市民の市政参加をすすめる上で大きな鍵となるのが、議会の存在ではないかと考えています。議会は市民に市政の課題をわかりやすい形で提示し、オープンな議論を通じて理解を広める場であるべきです。私自身も、ぜひ議会の場で行政と市民をつなぎ、希望の持てる社会を再生するために役割を果たしていきたいと願っています。

**松下** ぜひ一緒に命とくらしが守られる武蔵野市政に取り組んでいきましょう。